



「移民の父」杉村公使の命日に墓参

県人会では、第三代駐伯杉村公使、没後101年目の命日にあたる5月19日（土）同公使の墓参を2年ぶりにおこなった。

18日午後10時すぎ、千田夫妻、藤村副会長、上間サンパウロ新聞記者を伴い、リオデジャネイロ向け出発。

翌朝、伊藤春野監査役夫妻滞在のリオ市内ラゴア近くの増田宅（娘婿）で合流、伊藤さん孫婿の案内でサンジョアンバチスタ墓地へ向かった。

墓地はコルコバードのキリスト像が両手を広げて見下ろす地にあり、またポンデ・アスカールの中間地点に位置する。

墓地の中央通りには「飛行機の父」と云われ発明家サントス・ドゥモン（ライト兄弟より早くフランスで初飛行）や歌手／女優で有名なカルメン・ミランダなど、有名人の墓も多く豪壮な墓が立ち並んでいる。

公使の墓は中央通りから左の奥まった場所に位置している。前日には福川正浩リオ総領事に今川領事、リオ州日伯文化体育連盟の鹿田明義理事長、伊藤夫妻が墓参、綺麗な花が飾られていた。



伊藤氏が読経を唱えるなか一同は参拝した。以前は県人で訪れる人もいたが既に故人となり、在リオの鹿田氏などが中心になりお参りや補修にも気をつけて頂いている。

県人会では創立50周年を迎えるにあたり「移民の父」といわれ、ブラジルへの日本移民導入に尽くした杉村公使の墓碑整備を100周年特別事業として計画、今準備を急いでいる。

杉村公使はカナダ・バンクーバー初代領事時代にも移民導入を調査した経緯があり、1905年4月19日リオに赴任。ミナス州、サンパウロ州のコーヒー地帯を積極的に視察。州政府などから確答を得、本国に移民導入に適した国であることを報告。政府も海外投資事業として機運を促したとある。

公使は移民の到着を待たず、1906年5月19日脳溢血の為56才で亡くなっていることは、2年前大きく墓参報道されたことで日系コロニアの記憶に新しい。

この整備事業はご遺族や、リオ関係者と意見交換しながら調整を計ってゆく予定。



東北ブロック運動会盛会

5月6日（日）東北6県・北海道ブロック青年部主催により第5回東北ブロック運動会がディアデマの沖縄協会グラウンドで行われた。

午前9時すぎ秋田県の実行委員長が開会を宣言。当会の藤村副会長のリードでラジオ体操で身体をほぐし、小さい子供らの50m競技から始まった。

100m、ボール送り、豆拾い、パン食い競争、二人三脚、借物競争、宝探しで昼食。

昼食後、岩手の「雷神」が太鼓を披露し拍手喝采を浴びた。老若男女が大きな輪を作って盆踊りを楽しむ。競技はビン釣り、綱引き、お母さん探し、娘婿姑探し、娘嫁舅探し、玉入れ、全員が参加するリレー、協力し合った青年のリレーで幕を閉じた。

今回は市内から分かりやすいグラウンドだっ



た為、約500人が参加。年々参加者も増えている。

運動会開催にあたっては、各県の青年で集いを何度も重ね、企画、会場確保、各種準備と自発的に行い、今後の若い人々の活躍が期待される。

おつかれさま!

カウントダウン

創立 50 周年

まで 12 ヶ月

2008年6月には日本移民100周年を迎えます。我が岩手県人会はこの記念すべき節目の年の、6月15日（日）に創立50周年の記念式典を開催致します。

主な予定は、

6月

14日（土）慶祝団との懇親歓迎会

15日（日）創立50周年式典（会場は文協講堂）

16日（月）駐伯第3代杉村公使墓碑の改修披露式

21日（土）サンパウロの100周年記念式典参列

在日ブラジル岩手県人会「賛助会員の会」総会

吉田恭子様より - 賛助会副会長



6月9日(土) 午後3時から「ブラジル岩手県人会賛助会員の会(会長 吉田重雄)総会」が盛岡市内で行われ総勢22名の出席がありました。

議題は来年の県人会創立50周年への慶祝などで、皆さんは万難を排して参加したいとの希望でした。追って全会員に募集申込書を送る予定です。

6月14日サンパウロ着、前夜祭出席。15日式典参加。リオの杉村公使墓碑参拝などを予定。イグアスからピラポ入りが考えられます。

達増知事も万難を期して参列することになると思います。それに併せて岩手日報なども同行取材することになるので、御地の日程確定が第一かと思われます。

水沢の山折さんや盛岡の坂本さんは、御地で幼児教育関係者と交流したいと希望があります。

☆佐々木栄洋さんより - (有)ブラジル・ジャパン社

盛岡でブラジル県人会賛助会員の総会・懇親会が開かれました。その折の写真を添付致します。議題は来年の移民100周年でしたが、会員皆様のブラジルに対する想いを知り、感銘を受けました。微力ながらブラジルを愛する若者の一人として双方の「架け橋」となれるよう活動していくことを誓いました。留学生の町田のりこさんも元気で頑張っていることをご報告いたします。

☆菅原圓雄様より

県人会の皆様には、その後お変わりなくご活躍の様子。県人会ニュース150号を有難く拝受致しました。26日には畑勝喜氏とお嬢さんがお元気で来盛され最新の二ニュースを交えて懇談する事が出来ました。28日には達増知事から50周年記念式典出席の確約を得、その後北海道経由帰聖され、ご報告があったと思います。

皆様お揃いでご健勝の程を。

お知らせ

●「逝去」

田口亮毅氏 (享年69歳、故・田口信二氏の長男、イピウナ在)は、ソロカバ市で不慮の事故のため5月18日永眠されました。

平野源吉さん (大船渡出身・享年84才)は、6月1日朝、肺機能不全のため逝去されました。遺体は同日コンゴニア墓地に埋葬されました。

水野昭彦氏 (享年66歳、賛助会員、愛知県出身、元ブラジルアイシン(精機社長)は、日本で病氣療養中でありましたが、6月5日逝去されました。

三上良三氏 (岩手郡滝沢村出身、享年91歳)長らく岩手県海外移住家族会の会長を勤められた同氏は、多発性脳梗塞のため、5月20日永眠されました。

皆様方のご冥福を心より祈念申し上げます。

●「第10回日本まつり」

は、7月20日21日22日と州農務局展示場(昨年と同場所)で行われます。同祭のテーマは「日本の美」です。

●「県人会年額会費」

は、6月まで納入の方は70レアイス、7月からの納入者は75レアイスとなっております。宜しくお願い致します。

●「日本語教室」 AULA DE JAPONÊS

県人会では日本語教室を4月から毎土曜日午後2時から授業を行っております。講師は多田マウロ先生(85年度研修生・県人会副会長)で、親切丁寧に教えております。

希望者は 県人会 TEL 3207-2383 まで。

留学生・研修生募集

2008年度県費留学生・海外技術研修生を募集しております。希望者は早めに県人会まで申し込み下さい。

- 2 岩手を訪問する畑勝喜氏や菊地義治氏の予定表を関係者へ発信。
- 3 県国際課より「いわて親善大使」の委嘱状と「国際交流バッジ」が千田会長へ届く。
- 4 リオデジャネイロで活躍していた、高橋勇一郎さん（現長野県在）が久しぶりに来館。杉村公使の話を懐かしんでいた。
- 5 東北ブロック運動会の準備が当県人会で行われる。
- 6 第5回東北ブロック青年部主催運動会を沖縄協会グラウンドで挙行。約500名の参加者があり盛会。
- 7 ブラジルジャパン社の佐々木栄洋氏よりメール。
- 8 達増知事へ就任祝いと、50周年参加要望書を菊地名誉会長へ託す。
- ☆ 留学生町田のりこさんを千田夫妻が空港へ見送る。
- 9 東北ブロック演芸祭第2回会合へ会長出席。秋田県
- ☆ 菊地さんへ達増県知事への就任祝いと、50周年式典出席要望書を託す。
- 10 伊藤さんとカンボリンポの石屋須藤さんに杉村公使の像や墓石について意見交換。
- 11 県北栃主任より菊地さんは知事に面会の予定はとのメール。22日午前中に会いたい。また、畑氏には28日に県人会へのメッセージお願いと知事の写真を要望する。
- 12 役員会開催 議題は餅まつり（6月17日）、岩手餅まつり、日本まつり、50周年、その他など。
- 14 国際課熊谷純子主事より留学生を県立産業大学に案内し施設を見学したとのメール。
- ☆ 吉田重雄氏より母県訪問者対応について電話あり。
- 15 北栃主査より訪問者の知事面会と写真について。

- ☆ 和田司氏（賛助会員）より200レアイスの寄付。
- ☆ 宇佐美さんより日本語教室使用の訪問あり。
- 16 賛助会員の会藤村事務局長より、確認のため会員住所録送付の依頼あり。住所録を送信する。
- 17 吉田恭子さんより、留学生に会った。国際課に畑氏の略歴を送って下さいとのメール。
- 18 増田稲子さんへ高級陶器類の寄贈方を依頼。
- ☆ 北栃主任より達増知事の映像取材を承認のメール。
- ☆ 夜、千田夫妻、藤村副会長、上間サンパウロ新聞記者は杉村公使の墓参にリオ向け出発。
- 19 リオ滞在の伊藤夫妻と合流し杉村公使の墓参。前日には鹿田リオ連盟会長や福川正浩総領事、今川領事、伊藤夫妻でお参り頂いた由。
- 21 伊藤さんは公使の胸像の製作の予算書を持参。
- 22 会報150号を国内外へ発送。先月に続き岩手県全35市町村へも発送。
- 24 サンパウロ新聞「岩手県人会が杉村氏の墓参り」と記事あり。
- ☆ 杉村公使墓参の写真や記事に関係者へ発信。
- 26 県国際交流協会より広報66号受信。
- 28 吉田恭子さんより岩手訪問者畑氏は、国際課、知事を表敬し、県人会へのメッセージをビデオ取材され花巻で稲葉さんとう旨のメール受信。
- ☆ リオの鹿田氏より公使の墓碑についてメール受信。
- 29 達増拓也知事、増田寛也前知事から挨拶状受信。
- ☆ 日本祭「県連主催」の衛生指導会合に会長出席。
- 31 県連代表者会に千田会長出席。日本まつり、弁論大会、慰霊碑法要、地域交流事業、故郷巡り報告など。

県人会図書整理中

県人会図書室は今、整理を兼ねて利用者閲覧のためパソコンに本の入力作業を急いでいる。

整理は、本の配置棚、図書名、作者名、発行所、発行年月、価格、本の大きさなど。作業は、自宅に1万5千冊以上を保有し、きちんと整理している藤村光夫副会長が手弁当で入力作業に追われている中で、最近では図書寄贈者も多く、贈られた本にプラスチックのカバーを付けをおこなったりで大変。5月末で約4000冊を入力している。



作業に精出す藤村副会長

☆ ふるさと 図書室 — 賛助会員 稗貫 慶朋 (北海道・ルーツは南部藩)

県人会の整頓された図書室は故郷の香りが一杯。ポケ防止には素晴らしい薬局、今日も利用させて頂く、私は札幌出身だが先祖が岩手県と言うことでお世話になっております。

雑誌、参考資料、史料など貴重な資料編が数多くある。以前は日本から取り寄せていたが有る所には有ると言うように、そ

の種類に頭が下がる思いで歴史資料と岩手文化の探訪、ふるさと再発見と言うように数多く郷土歴史が詰まった図書室であり興味を増すばかりです。

私は日本語挽回を兼ねて何時も利用させて頂き感謝しております。また二・三世の方々が日本語普及の為に大いに利用されることを期待しております。

会費納入者名 (5月)

(敬称略) 和賀希耕、高橋信男、高橋凡児、藤堂勝次、矢島みどり、和田司、佐藤定彦、及川益夫、稗貫慶朋、桐田諒美、千葉直義、矢野久、佐々木進ジョゼリス、
(累計124名)

寄付・寄贈 (5月)

高橋勇一郎様 198レアイス
和田司様 200レアイス(本棚)
佐々木憲輔様 お茶菓子
図書利用者多数様 お茶菓子

芝美喜子様 図書6冊
稗貫慶朋様 図書9冊
橋本敏郎様 図書29冊
無名氏様 図書5冊
宮城義晴様 図書1冊
高坂房悦様 図書9冊
松井武様 図書10冊
和田司様 図書10冊
岡部ゆかり様 図書1冊
小林利朗様 図書1冊
宮下茂様 図書5冊
松田幸男様 図書15冊
..... (合計101冊)



図書利用 (5月)

162名 612冊

●桜

春を代表する桜からお伝えしましょう。県内には桜名所が多くありますが、県内随一の桜名所一関の「展勝地」は、北上川の岸辺に整備され約1万本があり、北上川とのコントラストが美しい。



●菜の花畑でピクニック

(5月12日) 盛岡市厨川の北厨川小の全校児童は11日、同志の東北農業センターに菜の花ピクニックに出掛け、一面に広がる黄色い花々に囲まれながら昼食を楽しんだ。

●平安の歌遊び優雅に

(5月27日) 平泉町の毛越寺浄土庭園で曲水(ごくすい)の宴が開かれ、観光客を前に平安貴族の歌遊びが再現された。



●八幡平山開き

(4月29日) 大型連休初日の28日、県内は青空が広がる絶好の行楽日和となり、八幡平市と秋田県にまたがる八幡平(1613m)では山開きが行われ、残雪を楽しむトレッキング客で賑わった。



故郷を離れ幾春秋。
移住者の脳裏に浮かぶのは
「ふるさとの風景」ではないでしょうか。
NHKドラマ「どんどこ晴れ」の「風景や詠い」
で岩手を憶がしんでいると思いますが、
幾つか「春」の風景を
お楽しみ下さい。

●のんびり草はむ滝沢で馬放牧

(5月29日) 29日の県内は、県北部を中心に晴れ、吹く風が心地よい穏やかな天気となった。滝沢村鶴飼の村営・相の沢牧野では、放牧された馬がのんびりと草を食(は)のでいた。



●田植

(5月6日) 5日、金ヶ崎町永沢の阿部さん方の水田では、時折陽光が差し込む中、連休を利用して親戚6人で田植をした。



●リンゴ白花かれん

(5月21日) 陸前高田駅からハイキング「名刹(めいさつ)・普門寺(ふもんじ)とリンゴの花街道を歩く」は20日、陸前高田市で行われ、

●チャグチャグ馬コ

(6月9日) チャグチャグ馬コが行われた9日、滝沢村と盛岡市の沿道は数多くの家族連れや観光客で賑わった。87頭の馬コは軽やかに鈴の音を響かせながら4時間半かけて約15キロを練り歩いた。盛岡市では青山町、材木町の両商店街や盛岡駅前、県庁などを経由。観客は馬コが通るとカメラを構え撮影したり手を振って声援を送った。終点は八幡町の八幡宮。盛岡の人はチャグチャグ馬コ祭りが終ると夏本番がそこまでやってきたという。



ALFAINTER TURISMO LTDA. アルファインテル南米交流

SÃO PAULO - BRASIL
Rua Américo de Campos, 47A - Liberdade
São Paulo-SP - C.E.P.: 01506-010
Tel.: (11) 2187-8989
Fax.: (11) 2187-8999
e-mail: sao@alfainter.com.br

TOKYO - JAPAN
Daishin Bldg. 6F, 3-8-6, Shimbashi
Minato-ku, Tokyo 105-0004
Tel.: (03) 5473-0541
Fax.: (03) 5473-0540
e-mail: info@alfainter.co.jp



ふるさと
めぐり 10

普代村

(www.vill.fudai.iwate.jp より)

普代村は岩手県沿岸北部に位置し、海と山の豊かな自然に
囲まれた人口約3600人の小さな村で「北緯40度の地球村」

をフレーズに、グローバルな村おこしに取り組んでいる。

陸中海岸国立公園の中でも白眉の景勝地、黒崎は高さ200
mにも及ぶ切り立った断崖が連続し“海のアルプス”と呼ば
れる男性的な自然美をなし、展望台からは、ネダリ浜、
譜代浜、野田、久慈方面を一望出来る。

普代村は明治29年6月15日と昭和8年3月3日大きな
地震と津波に見舞われ被害も甚大だったと云う。

特産品は、新新巻・いくら、すき昆布、塩蔵わかめ、生う
に、マツモ、まつたけ、干しいたけ、鉄山染（かつての鉄山
からの湧き水で染色）などに地域独特の名産もある。

